# こどもの

# 高次脳機能障害支援ガイド



千葉県千葉リハビリテーションセンター

# 高次脳機能障害ってなに?

事故等の脳外傷や脳動静脈奇形による頭蓋内出血、心肺停止による低酸素脳症などによる脳損傷後、怒りっぽくなった、落ち着きがない、甘えがひどくなった、すぐに忘れるなど今まで見られなかった症状が生じることがあります。日常生活に支障をもたらすこのような症状を高次脳機能障害といいます。具体的には注意障害、記憶障害、遂行機能障害、社会的行動障害などがあります。神経心理学的検査や画像診断をもとに診断されます。下記に示した通り 2004 年 2 月に厚生労働省より診断基準が出されています。

具体的にどんな症状があるのか、どのように困っているかは人それぞれ異なりますが、 共通する面もあります。患者さんのご家族や特別支援学校の先生方の協力を頂いて、「ど のように対応したらよいのか」、「どうすれば環境との関わり方を変え、適切な行動を獲 得して行けるのか」等の具体的対応について検討し、7ページ以降にまとめました。

#### 高次脳機能障害の診断基準(2004年2月)

#### 1. 主要症状等

- 1. 脳の器質的病変の原因となる事故による受傷や疾病の発症の事実が確認されている。
- 2. 現在、日常生活または社会生活に制約があり、その主たる原因が記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害である。

#### Ⅱ. 検査所見

MRI、CT、脳波などにより認知障害の原因と考えられる脳の器質的病変の存在が確認されているか、あるいは診断書により脳の器質的病変が存在したと確認できる。

#### Ⅲ. 除外項目

- 1. 脳の器質的病変に基づく認知障害のうち、身体障害として認定可能である症状を有するが上記主要症状 (I-2) を欠くものは除外する。
- 2. 診断にあたり、受傷または発症以前から有する症状と検査所見は除外する。
- 3. 先天性疾患、周産期における脳損傷、発達障害、進行性疾患を原因とする者は除外する。

#### IV. 診断

- 1. | ~ ||をすべて満たした場合は高次脳機能障害と診断する。
- 2. 高次脳機能障害の診断は脳の器質的病変の原因となった外傷や疾病の急性期症状を脱した後において行う。
- 3. 神経心理学的検査の所見を参考にすることができる。



#### 注意障害

ひとつのことへの集中はできていても、 他に注意を向けられなかったり。逆に 色々な刺激に反応して集中できなかっ たり、目はその部分を見ていても認識 していないといったことがあります。





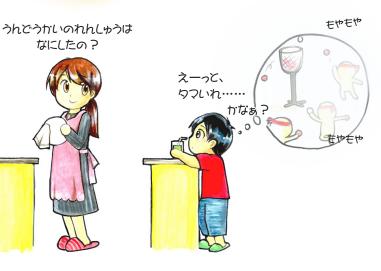
あ! ボール!!



#### 記憶障害

予定がわからなくなったり、同じことを 何回も言ったり聞いたりします。勉強し てもなかなか覚えられず、とても苦労し ます。







#### 遂行機能障害

計画を立てて行動することが難しく、1つ 1つ指示が必要です。発達的に比較的あと から伸びてくる機能です。慣れた環境や学 校生活のように、ある程度決められた活動 の中では目立ちにくいことがあります。



えーっと、 なんだっけなぁ





#### 社会的行動障害

年齢よりも幼くふるまったり、怒りっぽく なったり、状況に合わない行動をしたり。相 手からどのように見られるかを考えられなく なったりします。



#### Q1. 発達障害とはどうちがうの?

▲ 2004 年 2 月高次脳機能障害の診断基準の発表後、2005 年 4 月 1 日より発達障害者支援法が施行されています。発達障害者支援法での発達障害の定義は「自閉症、アスペルガー症候群などの広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他これに類する脳機能障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの」となっています。

一方、厚生労働省の高次脳機能障害の診断基準では、脳が損傷した原因となる事故や病気の事実と脳の 損傷が証明されなくてはなりません。これらの脳損傷が原因でひき起こされる症状により、日常生活や 社会生活への適応に問題が生じることを高次脳機能障害といいます。

両障害の違いは、発達障害は原因を特定せず、幼少期に発症し、症状重視であるのに対し、高次脳機能 障害は発症原因を明確に規定していることです。小児期の両障害の違いや共通点などについては、今後 の研究によって明らかにされていくことになるでしょう。

#### Q2. 高次脳機能障害はよくなるの、子どもでは大人と違うの?

●傷・発症から2~3年は回復に向かい、臨床症状や検査結果に改善が見られますが、その後検査結果などに大きな変化は見られなくなります。しかし、日常生活で困る症状に対して、環境との関わり方を変え、適切な行動を可能にする代償スキルを獲得できれば、高次脳機能障害はよくなったということになります。代償スキルを獲得するには、まず自己の機能に関して現実的に受け入れ、健全に残っている能力を自覚し日常生活をこなす能力につなげることができればよいのですが、中学生あるいは高校生位にならないと難しい面もあります。このため、発達の頃合を見ながらその年齢にあった支援をしていくことが必要になります。また、記憶障害などのため二次的な学習障害に陥り、知的発達が追いついていかないような事態はできるだけ避けたいものです。まずは、学校生活に適応できるよう、家庭や学校などでの理解と援助(環境調整)が重要です。

このように子どもの場合には、発達の影響を受けること、学校生活に適応することが目標になること など、大人と違った視点と支援が必要になります。

# Q3. この子に合う学校ってあるの?

ト別な教育支援が必要なお子さんには、特別支援学級や特別支援学校があります。特別支援教育コーディネーターの先生に相談すると、現在の学級に在籍しながら、学習しやすい支援を一緒に考えてくれます。学校の情報と相談窓口を 18 ページに記載してありますので、参考になさってください。

## Q4. 学校の先生に伝えたほうがいいですか?

▲ 発達障害については、法律の後押しもあって、学校では先生方の理解をえやすい状況です。高次脳機能障害についても理解してもらうことが重要ですので、どんな症状があるか、どんなことに困っているか、伝えましょう。お子さんは家族や学校の理解・援助を必要としています。家族だけで伝えることが難しければ、高次脳機能障害支援拠点機関(19ページ)のスタッフもお手伝いします。ご相談ください。

#### Q5. 障害者手帳はもらえるの?

▲ 障害者手帳には、身体障害者手帳、療育手帳(知的障害児・者の手帳)、精神障害者保健福祉手帳があります。障害者手帳に該当するかどうか、またはどの手帳に該当するかは、一人一人異なりますので、お住まいの市町村窓口または、主治医・ソーシャルワーカーに相談してみてください。

障害者手帳は、障害のために日常生活に支障が生じ、何らかの特別の支援を必要とする状態にある方に対して発行されるものです。この手帳を取得することによって、社会的生活をしやすくするための医療的・経済的・社会的支援が利用しやすくなります。申請窓口は市町村です。

#### 1. 手帳の種類

#### 身体障害者手帳

上肢、下肢、体幹、視覚、聴覚・平衡、音声・言語・そしゃく、心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう又は直腸、 小腸、免疫、肝臓等に障害があるため、日常生活が著しく制限を受けている方。

#### 療育手帳

おおむね 18 才までに知的機能の障害により、日常生活に支障をきたしている方で児童相談所または知的障害者更生相談所(障害者相談センター)において判定をされた方。

#### 精神障害者保健福祉手帳

高次脳機能障害・てんかん、統合失調症などなんらかの精神疾患により、長期にわたり日常生活または社会生活への制約がある方。

- 2. 障害者手帳を取得すると、色々な制度を利用できます。 どの種別・級でも受けられるのは所得税・住民税・相続税の控除です。(所得制限あり) 他にも、手帳の種別と級に応じて受けられる様々な制度があります。 障害の程度によって、手当て(児童)等の対象になる場合もあります。
- 3. 障害者手帳を取得すると、福祉サービスを利用しやすくなります。

児童デイサービス

居宅介護(ホームヘルプサービス)

短期入所 (短期間の施設入所=ショートステイ)

日中一時支援

# 障害に気づくって、みんな同じなの?

子どもの場合は、受傷・発症した年齢によって、違いがあるようです。大まかに受傷・発症時期に 区切って特徴を述べます。



やっと言葉を使って周りの人たちとやりとりすることが出来るようになり始める3歳未満児です。歩けていたのに、どうして転んでしまうんだろう? 言葉を使って自分の気持ちを表現していたのに、どうして表現できないんだろう? といった「あれ? おかしいな」という違和感はありますが、「以前の自分じゃないな……」と感じる時期はごく短期間のようです。すぐに新たな今の自分からスタートします。

# 小学校 低学年 まで

自分で日常的に体験してきたことを、言葉を使って知識として積み上げていくのが、小学校低学年くらいまでの子どもたちです。「~ができていた」自分が、「~ができなくなった」場面に出会うたびにショックを受けます。今の自分を「バカになっちゃった」とか「ダメになっちゃった」と思います。しかし、そのことと「障害」をかかえて生きるということとは必ずしも結びつかないようです。よくなっているところを、本人に判るように示してあげることが大切です。

# 小学校 高学年 以上

《自己》をしっかり意識している年齢です。「~ができなくなった」自分になったことで「障害」を負ったことに気づきます。~ができなくなって「ダメになった」だけでなく「障害を持ってしまった」自分に傷つきます。努力しても治らないとわかったときには、深い絶望感に襲われます。その絶望の時期を信頼する人々によってしっかり受け止められつつ、新たな価値ある自分へと育っていくのです。何よりも同じクラスの友だちの励ましに力づけられます。

# 支援のポイント

学校はとても特殊な文化を持った場所です。ごく少数の先生といわれる人がいて、その人がすべてを指示します。先生の指示は子どもにとって絶対的なものです。後はすべて同じ立場の同い年のお友達。その先生も、1~2年で替わっていきます。クラス替えもあります。ある意味落ち着かない人間関係です。その子なりのペースで自分らしさを見つけていくのに、家庭と学校の協力は欠かせません。

# 3 歳未満

かなりのスピードで回復していくために、ドンドンよくなっていくと思いがちです。 特に、幼稚園や保育所は大人の援助が細かく入っているため、元に戻ったと思いた くなります。中にはまったく後遺症状もないという子どももいますが、多くは学校 という規律ある場に入ると、大人の援助無しには学べないということも多いです。 学校に上がるまでは、お友達と楽しく遊ぶ充実感を味わう体験を大切にしましょう。 劣等感や孤立感で集団に入ることが辛くなることは避けたいものです。

# 小学校 低学年まで

学校に戻ると、友だちの話す内容も人間関係も、以前とはすっかり変わっています。「治って戻ってきた!」「よくなっている!」という実感はありません。いくらがんばっても、ちっとも追いつかないのです。むしろみんなからドンドン遅れていくのが見えるだけです。本人はそのことに苛立っています。家族や周りの大人たちは、出来る限り子どもに「以前より上達している!」ことや「よくなった!」ことを、ハッキリ示して自信を持てるように援助しましょう。また、周りのお友だちと起こすトラブルは、その都度本人の"つもり"と相手の受け止め方のズレを見えやすいようにし、トラブルを避けるためのわかりやすいルールをみんなで確認していくことも一つの方法です。新たに小学校を選ぶときは、学校に行くことがイヤにならない場を選び、みんなと一緒に勉強する楽しさを最優先させたいものです。

# 小学校 高学年以上

学習の基礎がある程度身に付いてからの受傷です。何度も繰り返すことで、なんとか成績は維持できることもあります。しかし、本人は疲れやすい状態でありながらこれまで以上の努力をしていることもあってギリギリのところにいます。科目毎で先生は替わり、時には友だちも変わります。部活では縦割り社会の人間関係も学ばねばなりません。あちこち気をつかい疲れています。ちょっとしたことでキレやすくなっており、「もうこれ以上がんばれない!」と叫びたいのです。カッとなったときに、叫びたい気持ちを受け止め、冷静に自分の行動や気持ちを見直させてくれる身近な援助者が必要です。これは、家族では難しいことが多いです。身近に理解してくれる先生や友人がいると最高です。関係するみんなの気持ちをゆとりある方向に向けながら、本人への対応が考えられなければならないと思います。

# こんなとき、どうしたらいいの?

当センターでは、平成 21 年度に「小児高次脳機能障害の生活支援ニーズ・障害実態調査」を実施しました。ご協力いただいたのは、当センター通院中で小学校・中学校・高校に在籍中のご家族とハイリハキッズ(家族会)会員の計 35 家族、および高次脳機能障害を持つ子どもたちの指導に当たっている千葉県立袖ケ浦特別支援学校の先生方です。その結果から、子どもたちとご家族の困っていることとその具体的な対応方法を掲載したこのガイドを作成しました。高次脳機能障害を持つ子どもたちに関わる際のヒントがたくさん詰まっていますので、ぜひご活用ください。(この調査は平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金を受け実施したものです)

#### 登場人物



相談者:高次脳機能障害を持つ子どもの母





|小学生のぼく・わたし



中学生・高校生のぼく



ベテラン母さん: 高次脳機能障害を持つ子どもの母 お母さんなりに悩んで、やってみて、わかったことをお伝えします!



学校の先生: 高次脳機能障害を持つ子どもの教育に関わっている 学校で工夫していることをお伝えします!



スタッフ: 高次脳機能障害を持つ子どもの治療・訓練に関わっている ワンポイントアドバイスをお伝えします!

# 発動性低下



Q. 以前はもっと活発だったのに、いつもゴロゴロ して何かしようという意欲が感じられないんで す。いちいち言わないとダメなんです。 (小学 4 年)



「何をやったらいいのかよくわからないんだ。 でも言われたことはやっているじゃないか」



「○○が終わったら食事に出かけましょう」など、楽しいことが後に控えていると頑張れるんですよね。なるべく目標になることを用意するようにしています。



その時々にこまめに声をかけることが必要な時期もあります。自分で気づいて次の行動を始めるのが難しくなっている場合は、タイマーや携帯電話のアラーム機能を使って、やるべきことに気づけるように練習してみてはどうでしょうか?

#### 注意障害



Q. 話が最後まで聞けないんです。周りがザワザワ していると特にそうです。どうしたら集中して 聞けるようになるでしょうか?(小学6年)



「ぼくはちゃんと聞いてるよ。でも周りで音がするとそれが気になって仕方がないんだ」



テレビがついていたり、兄弟が遊んでいるところで言い聞かせようとするとついそちらに気がそれてしまいます。落ち着いている時に話せばわかることが多いので、なるべく静かな場所で言い聞かせるようにしています。



本人がコントロールするのは難しいので、なるべく刺激の少ない場所で話をしましょう。あれこれ説明しようとするとわからなくなって余計に聞けなくなりますので、要点をメモ書きにするなど伝え方を工夫してみることも必要です。また、集中しやすい環境を整えるという意味で「おもちゃ等の気になるものを側に置かない」というのも工夫のひとつです。

#### 衝動性



Q. 買い物に連れて行くと、お店で勝手に商品に 触ってしまいます。目が離せなくて大変です。 (小学 2 年)



#### 「だって。欲しくなっちゃうんだもん」



目についたものに手を伸ばしてしまうのは高次脳機能障害の症状 だそうです。その場の状況を伝えて、今はそれに触るべきでない ことを根気強く教えると、わかっていきますよ。

事前に「お店のものには触らない」と約束しても、見るとつい欲 しくなって手が出てしまいがちです。本人も抑えられなくて困っ ています。頻繁に声をかけることで商品から注意を逸らしたり、 手に取ってしまったらその都度元に戻すように教えましょう。



Q. 前はそんなことなかったのに、今は人前でも平 気で母親の体にまとわりついてくるんです。 い つまで続くのでしょうか? (中学1年)



#### 「だって、お母さんのそばにいると安心なんだもん」





うれしかったり、緊張が解けたり した時には、べたべたとまとわり ついてくることがありました。そ んな時は受け入れてきましたが、 ふだんは「もう○年生なんだから」 と言い聞かせてきました。



そばに誰かいないと不安そう だと感じたら、落ち着いて学 習できるように、担任の机付 近で課題や本読みをしてもら う工夫をしました。



スキンシップを取るなど、ある程度は許容してもいいかもしれません。ただ、お尻を 触るなどの社会的に問題となるような場合には、年齢相応の行動を促していきましょ う。手遊び歌や腕相撲など、肯定的なスキンシップに変えていかれると良いですね! 女の子だったら、朝、髪を結ってあげるなんてこともよいですよ。

# 依存



Q. 自分のことなのに人任せで、誰かがやってくれ るだろうと思って甘えてるでしょ。(高校3年)



「それって、僕がやるべきことなの? ピンとこないんだ」



「自分でしなさい」といくら言っ てもダメでした。一緒にできる ことを増やしていったら、いつ の間にか自分でできるようにな りました。



どうしたらよいかがよくわからないから、 信頼できる人に頼ることがあるんですよ ね。そこから出発してステップを踏んで練 習し、一人でやれることを増やして、自信 をつけていかれるといいですね。

慣れないことは手順を決めて あげて、繰り返し経験を積ん でもらっています。作業の見 本を置いたり、他の生徒のや り方を見たり、手順を書いた カードを作ったり、声かけし たり。くり返すと自主的にで きるようになりました。「第一 ステージクリア!」「○○ポイ ントゲット!」など、その時 に子どもが反応する言葉を用 いるとよいですよ。



# 「感情コントロール」



**Q.** マナーの悪い人をみると明らかにムッとした 顔で言ってしまうんです。 ケンカにならないかハラハラします。(高校2年)



#### 「悪いことを悪いって言っただけじゃないか!」





落ち着ける場所に移って、余計に 刺激しないようにして、おさまる まで待ちました。



本人の言い分をじっくり聞いたあとで、落ち着いたら、「それは適切な言葉づかいではなかったね。」と伝えました。



カーッとしたら、とっさに言ってしまったりやってしまったりすることがあります。その場で言い分を聞いてもらえる存在が必要です。本人の気持ちを受け止めた上で、どうしたらよいかを話していきましょう。

# 疲れやすさ



Q. 授業中にあくびをしていることが多いと学校の 先生に言われます。特に午後の授業が多いみた いです。……怠けているんでしょうか?



#### 「え?怠けてなんかいないよ」

# たかな時は



「疲れているようだから少し休憩したら?」と言われても、本人は疲れたという 自覚がなかったんです。家に帰ってバタッと倒れるように眠るとなかなか起きら れず、起こすとものすごく機嫌が悪い、といったことが続きました。あくびが頻 発するなど、先生から見て疲れているようだったら、休憩を取る合図をしてもら いました。そして、保健室でお水を飲むなどぼんやり過ごす時間を取るようにし てもらいました。



あくびが出るのは、脳が疲労してしまっているからです。まだ脳の体力が回復しきれていないのかもしれません。疲労していることに本人も気がつかないことも多いのです。

### 意思伝達



**Q**. 色々と話してくれるのですが、事情を知らない と何が言いたいのかよくわからなくて……。



「いっしょうけんめい話しているんだけど、 よくわからないって言われちゃうんだ」



まず、話をじっくり聴いてあげて 慌てさせないようにしています。 話題が推測できたら、話しやすい ように声かけをします。



「はい」「いいえ」で答えられる質問をして確認したり、「○○?」「△△?」など選択肢を挙げて選んで答えてもらっています。



本人にもわかりやすくなるように、「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「どうした」「なぜ?」などを質問し、より詳しく伝えられるように引き出してあげましょう。

# 繰り返される確認行動



Q.「今日、何日?」とか「次、何するの?」 「次、どこ行くの?」など同じ質問を何度も聞いて きます。さっき答えたばかりですし、本人に聞い てもだいたい合っているのですが。(小学5年)



「誰かにこたえてもらわないと、なんとなく不安なの」



私は、スケジュール表を作って、決まった時間にそれを一緒に見て確認するようにしました。最初は、聞かれるたびに一緒に確認していましたが、だんだん1人でスケジュールを見て、次の行動が確認できるようになりました。



高学年になり、いろいろやるべき事が増えてくると、「これでいいのかな?」と不安になりがちです。そこで周りの人たちに確認して安心しているのだと思います。「他の人に言ってもらう」だけでなく、スケジュール表、手帳、スマートフォンなどを使って、「自分で見て」確認するということを習慣づけると良いでしょう。

# 態度・表情



Q. 自分の思い通りにならないと、すぐにむっとしてなかなか気持ちがおさまらないんです。

(中学1年)



「ムカつくんだからしょうがないよ。 でもそんな顔してる?」





不快に感じたらとにかく眼を閉じて頭の中で30数えるというルールにしています。 でも、ムッとしていることが自覚できない時が多いので、その都度こちらから「お まじない30数えるんだったよね」と言って、声をかけました。



その場から離れて気分を変えられるといいですね。でも、自分でそういった対処をすることは難しいものです。誰かが声かけをしてあげることが大事ですね。すぐに離れられない時には、「水を飲む」「眼を閉じて数を数える」「深呼吸をする」などの気分を落ち着ける方法を本人と一緒に決めて、普段から練習しておくと良いです。

# 異性関係



Q.街中でも素敵な女の人を見かけると、かけよって声をかけたり、身体に触れたり、性的な質問をしたり……。痴漢だと思われるのではないか、心配です。(高校3年男子)



#### 「だって、素敵だったんだもん」

たいな時はしていますし



学校の先生や看護師さんから、「やってはいけないこと、恥ずかしいこと」 として、本人に話しをしてもらいました。



性に関する衝動のコントロールは、とても難しい問題です。大人としての行動や責任、社会の規範を根気よく教え導くことが基本になります。相談しにくいデリケートな内容とは思いますが、病院のスタッフや学校の先生などに相談してください。

# 道に迷うこと



Q. 学校の登下校の時に時々迷子になるんです。 (小学 4 年)



「よそ見をして間違えて違う角を曲がっちゃったり、友達の家に寄ったりすると時々帰り道が わからなくなっちゃうの」



事情を話して特別に携帯を持たせてもらっています。GPS機能が付いた携帯を活用して、本人の居場所を確認しています。



事情を話してもらえば、携帯電話 を持たせることは可能です。ただ し、学校にいる間は携帯を預かり ます。



友だちの家に立ち寄った場合は、帰り道は、分かるところまで友だちに連れて 行ってもらうようにご本人へ伝えてみてはいかがでしょうか。また、迷ったら すぐに電話をするようにも伝えてみましょう。

### 道路の飛び出し



Q. 外出中に突然道路に飛び出してしまうことがあります。事故に遭わないか心配です。(小学1年)



#### 「そんなことしたっけ? よく覚えてないなぁ」



危ない場所では一人で行かないように話し、合図をしたら渡っていいという ルールを作りました。



遊びながら、またはぼんやりしながら歩いている時に面白い物が目に入ると、周囲の危険が見えずとっさに動いてしまいがちです。「気をつけて」と言われても何に気をつけたらいいかわかりにくいので、「前を見て。車が来ているから危ないよ」など、具体的に注意を促す必要があります。

# 安全確認(道路横断)



Q. 学校に行くためには横断歩道がない道を一人で渡らなくてはなりません。また事故に遭うのではないかと心配です。(中学 1 年)



#### 「信号がないと渡るタイミングがつかめないよ」



時間がかかっても交通量の少ない 別のルートを探しました。そして 何回か一緒に体験してみました。



少し遠回りですが、信号のある道 路を通るように徹底して教えてい ます。

# 起床



Q. 朝、ひとりでは起きられないんですよ。 目覚ましが鳴っても起きないんです。 どうしたらいいでしょう?(小学 2 年)



#### 「起きようとは思うんだけど、体が動かないんだ」



しっかり目覚めるまでには時間がかかるみたいですよ。早めに声をかけて起こしています。あと、カーテンを開けて、部屋を明るくします。布団から顔を出させて、 光を浴びるようにしています。



例えば、学校から帰ってきたら、昼寝をして疲れを取る工夫をするといいですよ。 受傷・発症してから3年くらい経つと自分で起きられるお子さんが増えるようです。



**Q**. 部屋中を散らかしっぱなしなんです。どうした ら片付けられるのでしょうか?(小学4年)



「片付けようと思うんだけど、どこからやればいいのかわからないの」





一緒に話し合いながら片付けてみました。「いるもの」と「いらないもの」 に分けて、「いらないもの」は捨てま した。物が少なくなって、自分で片付 けられるようになりました。



「これはロッカー」「これはカゴに入れる」と確認しながら一緒に片付けた後、他に「先生が手伝うことはありますか?」と声かけをしています。



何をどこに片付けるかを自分で考えることが苦手になっているかもしれません。 片付ける場所を具体的に決めると良いですよ。

# 大切な物の管理



Q. 自転車の鍵をどこにやったかわからなくなって しまうんです。どうしたらなくさないようにな りますか?(小学 5 年)



「気をつけてるんだけど、いつの間にかなくなっ ちゃうんだ。どうしてかなぁ?」



私が置き場所を決めて、必ず「自転車の 鍵置いた?」と確認して促していまし た。そのうち自分で置くようになって、 うっかり他の場所に置くと慌てて戻す ようになりました。



学校では「鞄はここに置く」 と決めたら鞄は自分で管理で きるようになりました。



持っていたものを意識しないで手放してしまうために、どこに置いたか忘れてしまいがちです。大切なものはいつも同じ場所に置く習慣にすることで、管理できるようになります。家の鍵など特に大切なものは、首から紐で提げるなど体から離れないようにしておきましょう。

# スケジュール管理



Q. 次の日の学校の準備は毎日言わないとできません。ずっとこうなのかしら……。(小学3年)



#### 「いつやればいいのかわからないんだよ」



本人が見てわかりやすい表などをつくり、いつも決まったタイミングで声かけをしてみて下さい。やがて、日課として定着していけば、時間がかかっても自分でできるようになります。時間割は本人が理解しやすいものを用意しましょう。千葉リハセンターで使っている物を紹介します。参考にしてみてください。他にも持ち物表を作っておくと、取りかかった後がスムーズだったりします。

月 F		日り	日 火曜日	
時間		予定		
1	8: 50		学校	
2	9:40		OT	
3	10:30		学校	
4	11:20		学校	
昼	12:10	<b>(4)</b>	昼ごはん	
こはんのあと			歯みがき	
5	13:20	3	ST	
6	14:05		PT	
7	15:00	<b>₽</b>	おやつ	
8		4	風呂	
18:00		<b>(</b>	タごはん	
こはんのあと		-	歯みがき	
		<u> 21</u>	寝る	

#### 問題解決能力



Q. 忘れ物をしたり、困った事態になると、自分で対応できないんです。



「どうしたらいいかわからなくて、頭が真っ白に なるんだ」



叱っても混乱するだけなんですよね。 落ち着いてからやり方を教えています。 自分で対処できたところは褒めています。



混乱しやすいこと、苦手そうなことは、まずは一緒にやってみたり、そばで声をかけて励ましてみましょう。それを少しずつ減らしていき、自分の力でできるようにしていきましょう。混乱することを減らして、自信をつけることが大切です。

# 授業内容の理解



Q. 学校の勉強についていけなくて……。



「聞いてはいるんだけど。 何のことか、よくわからないんだよ」



「おもしろい!」「わかる!」と思えると、集中もできて記憶に残りやす いようです。興味を持てるような工夫をしています。



前もって教科書を読んでおくなど予習をすることが大切です。知っていると 安心し、授業を聞いて理解しようとする気になるようです。自信をつけてい けるようにしましょう。

# 学習の定着



**Q.** 授業には参加しているし、勉強しようとしていますが学習が積み重ならないんです。



授業中には「わかった」とおもうんだけどな……。



その日やったことを宿題に出して もらい、家で一緒に復習して確認 をしています。(小学校低学年)



親と一緒にやるのは嫌がるので、学校 で補習をしてもらったり、個別学習の 塾に通っています。(小学校高学年)



本人の得意な力を生かして学習しましょう。例えば漢字の学習では、見ることが 苦手なお子さんは、部分に分解して構成要素を正しく捉え、唱え歌のように憶え ていく方法が良いと思います(例:男=田+力、「男は田んぼで力しごと」)。

# どこに相談したらいいの? 支援は?

病気やケガで入院・通院していた医療機関に相談してみましょう。また、高次脳機能障害の 相談窓口として、千葉県内には支援拠点機関 (19ページ) が開設されています。学校に通っ ていらっしゃる方については、学校に関する相談窓口でも相談・支援をしております。

#### 学校に関する相談・支援



県内各地の特別支援学校では『特別支援教育コーディネー ター』が地域の小・中学校等からの要請に応じて障害や病気 のある子どもたちの相談に当たっています。

『特別支援教育コーディネーター』は、在籍する小・中学校 等に訪問して支援方法をアドバイスしたり、在籍校の『特別 支援教育コーディネーター』と協力して必要な教育、医療及 び福祉等の関係機関と連携調整をしたりしています。子ども たちに必要な合理的配慮を検討していけるとよいでしょう。

千葉リハビリテーションセンターは、

千葉県立袖ケ浦特別支援学校と高次脳機能障 害のお子さんへの支援に関して連携をしています。 病弱教育を専門とする特別支援学校や県内各地の特別 支援学校には相談窓口があります。このほか、千葉県、 千葉市の教育委員会にも相談窓口があります。



千葉県立袖ケ浦特別支援学校 千葉市緑区誉田町 1-45-1 043-291-6922 (地域支援係)

http://www.chiba-c.ed.jp/sodegaura-sh/

#### 病弱教育を専門とする特別支援学校

44 千葉県立仁戸名特別支援学校 千葉市中央区仁戸名町 673 043-264-5400

「千葉県立四街道特別支援学校」 四街道市鹿渡 934-45 043-422-2609

#### その他の相談窓口

千葉県総合教育センター 千葉市稲毛区小仲台 5-10-2 043-207-6025

特別支援教育部

千葉市養護教育センター 千葉市美浜区高浜 3-2-3 043-277-0101

#### 資料



千葉県立袖ケ浦特別支援 学校のホームページでは、 『高次脳機能障害のある子 どもの支援 Q&A』がダウ ンロードできます。

袖ケ浦特別支援 高次脳 Q&A



全国特別支援学校病弱教育 校長会が作成した『病気の 子どもの理解のために一高 次脳機能障害一』もダウン ロードできます。

病弱教育校長会 高次脳



18

#### 医療機関の相談・支援

#### 千葉県高次脳機能障害支援拠点機関

千葉県内には4か所の支援拠点機関が設置されています。遠慮なくご相談ください。



◆千葉県千葉リハビリ	テーションセンター
------------	-----------

◆旭神経内科リハビリテーション病院

◆亀田リハビリテーション病院

◆総合病院国保旭中央病院

千葉県千葉市緑区誉田町 1-45-2 043-291-1831

千葉県松戸市栗ヶ沢 789-1 047-385-5566

千葉県鴨川市東町 975 番地 2 04-7093-1400

千葉県旭市イの 1326 番地 0479-63-8111

#### 近郊の家族会

家族会の名称 活動内容等 連絡先

高次脳機能障害の子どもをもつ家族の会
ハイリハキッズ

参加対象は小学生以下(当事者)のお子さんとその家族。 2か月に一度、東京江戸川区に集まり活動をしています。 https://hirehakids.wixsite.com/homepage

中村 千穂 お問合せは左のホームペーシャらお願いします

ハイリハジュニア

中学生~大学生の高次脳機能障害当事者と家族の会

2 か月に一度、主に東京で外出活動をしています。 E-mail: ais\_wankororin\_10240930@yahoo.co.jp 穴澤 芳子 090-7204-6115

千葉県内の家族会

※成人の当事者中心の家族会も含めて、県内には5つの当事者・家族会があります。

家族会の名称 活動内容等 連絡先

ちば高次脳機能障害者と 家族の会 千葉市家族会 (花見川区)、ディアひまわり (船橋市)、C's こ~じのうカフェ (佐倉市)などで集まり活動をしています。

角田 義規 090-4249-3815

高次脳機能障害若者の会 ハイリハちば 20歳代~40歳代の方を中心に主に千葉市近郊に集まり活動をしています。

石原 さとみ 0476-33-3081

東葛菜の花「高次脳機能障害者と家族の会」

南房総高次脳機能障害 家族と支援者の会

こ~じ・いちかわ

なんぼーこーじ

柏市や松戸市に集まり、脳トレやコミュニケーションを中心 とした小集団活動をしています。

千葉県鋸南町・鴨川市・南房総市・館山市の地域を中心に活 動しています。

市川市 (ココ) に集まり、茶和会を中心として情報交換・レクリエーション活動などを行っています。

大寺 龍彦 080-9570-6534

中核地域生活支援セン ターひだまり 0470-28-5667

地域活動支援センター ココ 永井 090-6491-6830



発行: 千葉県千葉リハビリテーションセンター 編集: 小児高次脳機能障害リハプログラミングプロジェクト 地域支援センター高次脳機能障害部 [高次脳機能障害支援センター] 表紙・構成: 山﨑覚子 / イラスト: 小菅倫子・奥貫奈津